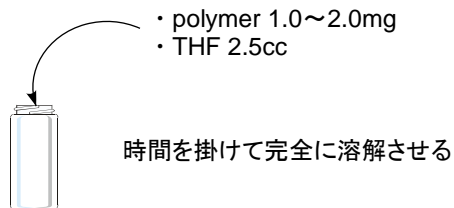


GPC 測定マニュアル

作成者:近藤

サンプル調製

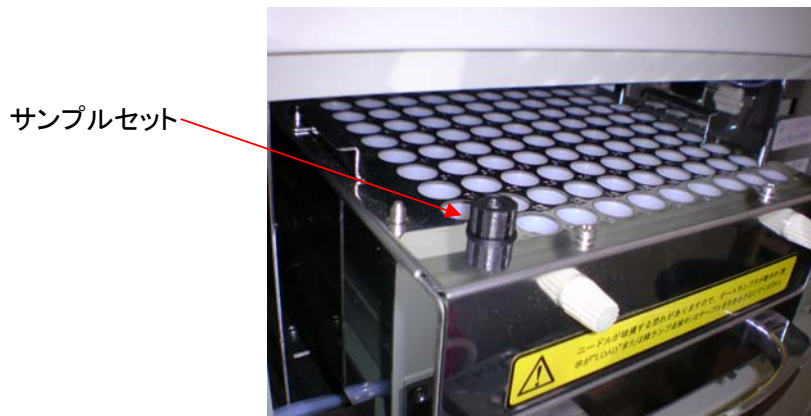
- ① サンプル管に測定したいポリマー1.0~2.0mg を 2.5cc の THF に完全に溶解させる。
THF の注入には注射器を使用。



- ② 続いて、メンブレンフィルターを通して GPC 用のサンプル管にポリマー溶液を注入する。
注射器を使用すること。サンプル管内に溶け残ったポリマーがないことを確認して下さい。



- ③ 次いで、GPC のコンテナにサンプルをセットする。必ず、サンプルをセットした番号を覚えておくこと。
緑色のランプが付いていたらサンプル交換 OK。赤色のランプだったら交換不可！！



GPC 測定

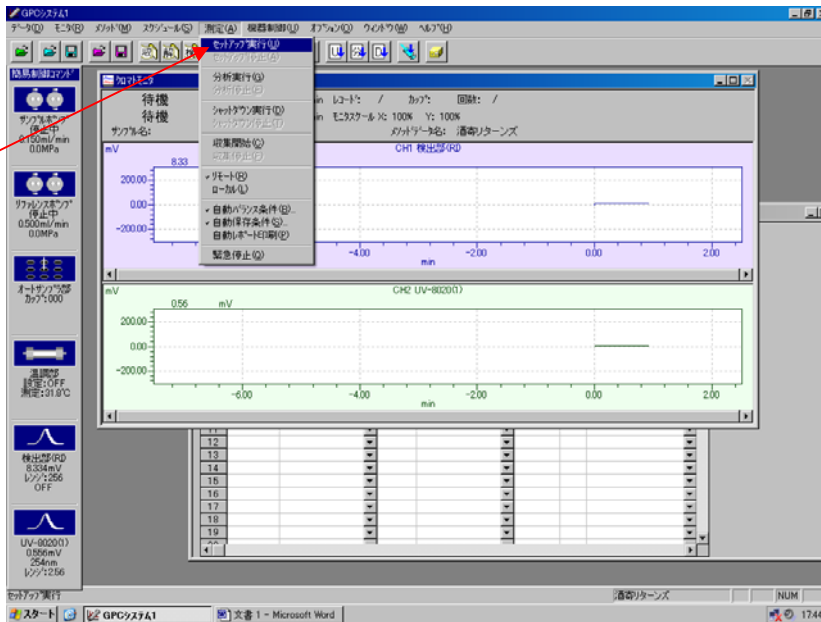
- ① PC の電源を入れて、「システム 1」を起動。

「システム 1」

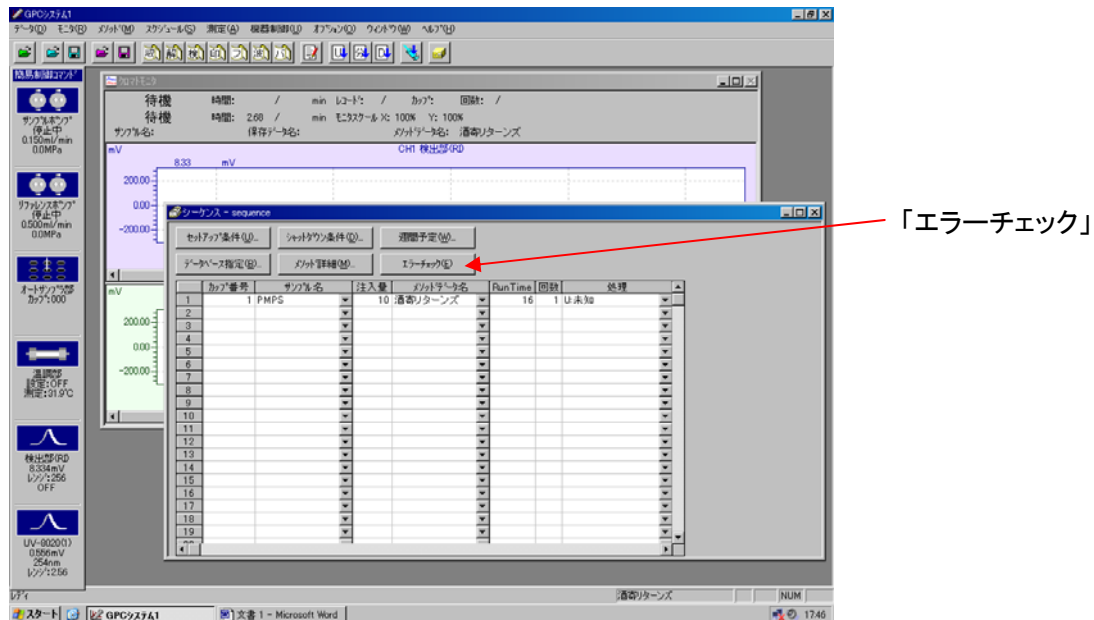


- ② 「測定」→「セットアップ実行」を選択し、セットアップを開始させる。
ポンプの圧、温度等が安定するまで放置。約 1 時間程度。

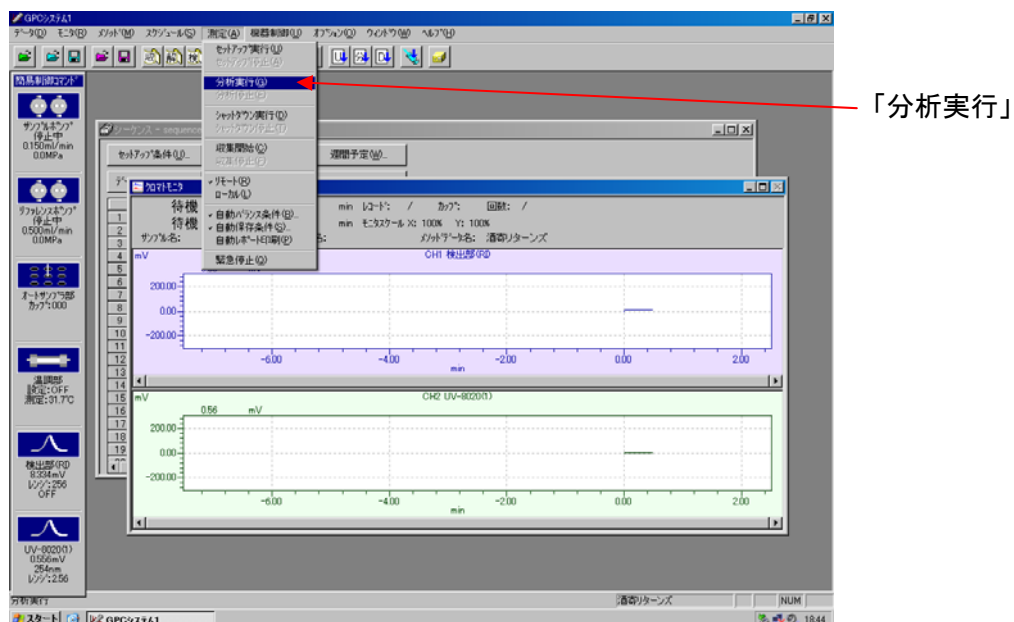
「セットアップ実行」



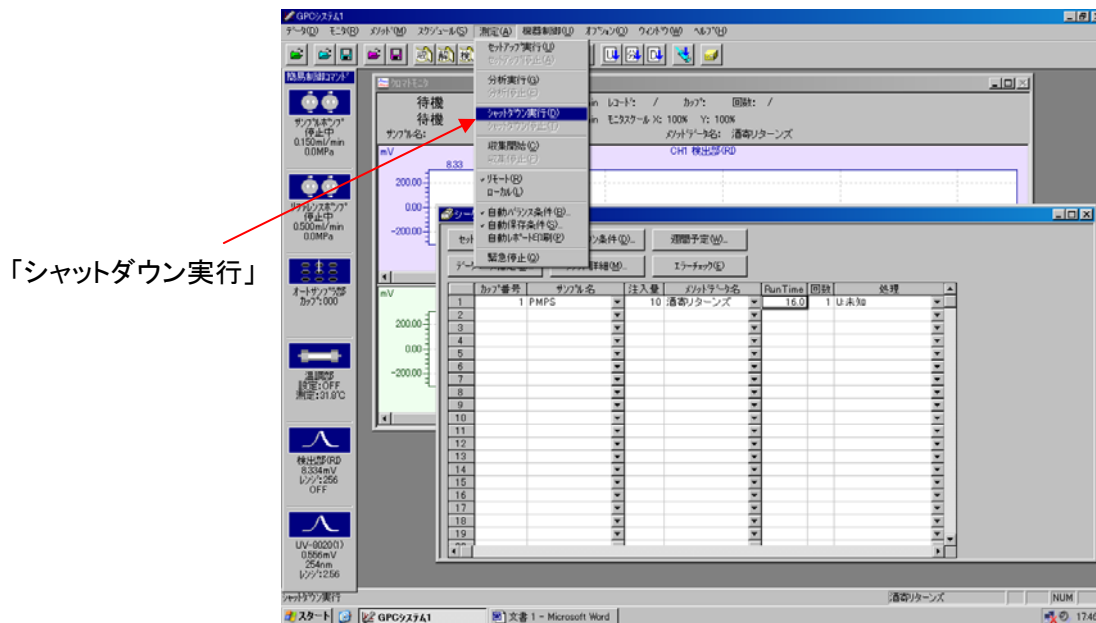
- ③ 安定したら、「シーケンス」に測定条件を打ち込む。このとき**カップ番号**を間違えないこと。
 注入量、Run Time は測定対象によって異なるので変更しても可。
 最後に、「エラーチェック」をして不備がないか確認する。



- ④ 全てのシーケンスファイルの確認が終わったら、「測定」→「分析実行」で測定を開始する。



- ⑤ 測定が終了したら、「測定」→「シャットダウン実行」で装置を止める。
結構時間が掛かるが気長に待つ！

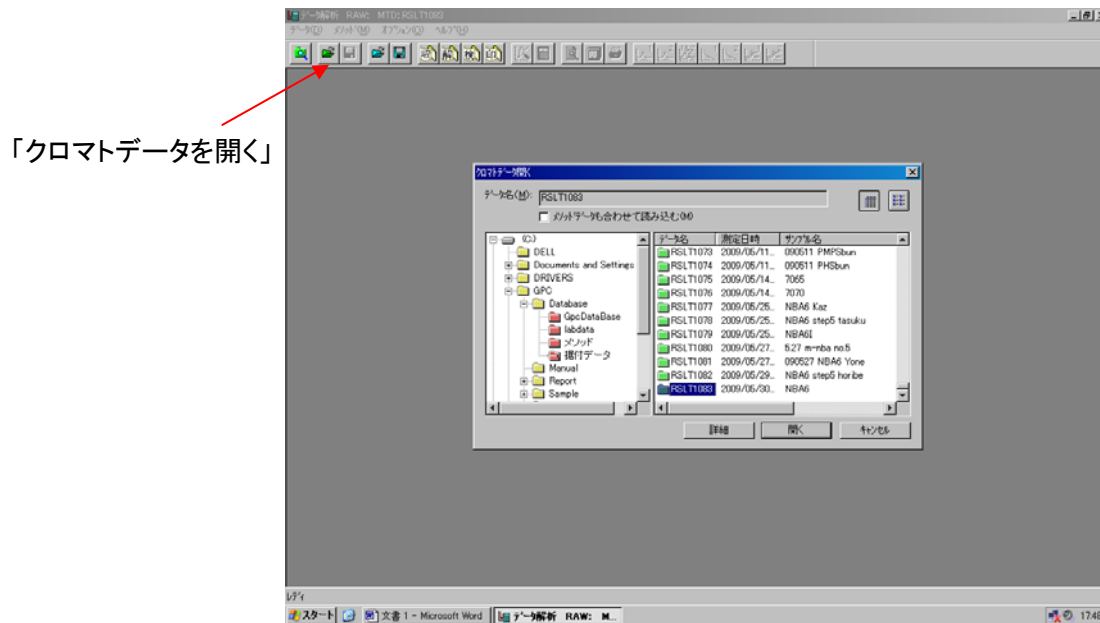


データ解析

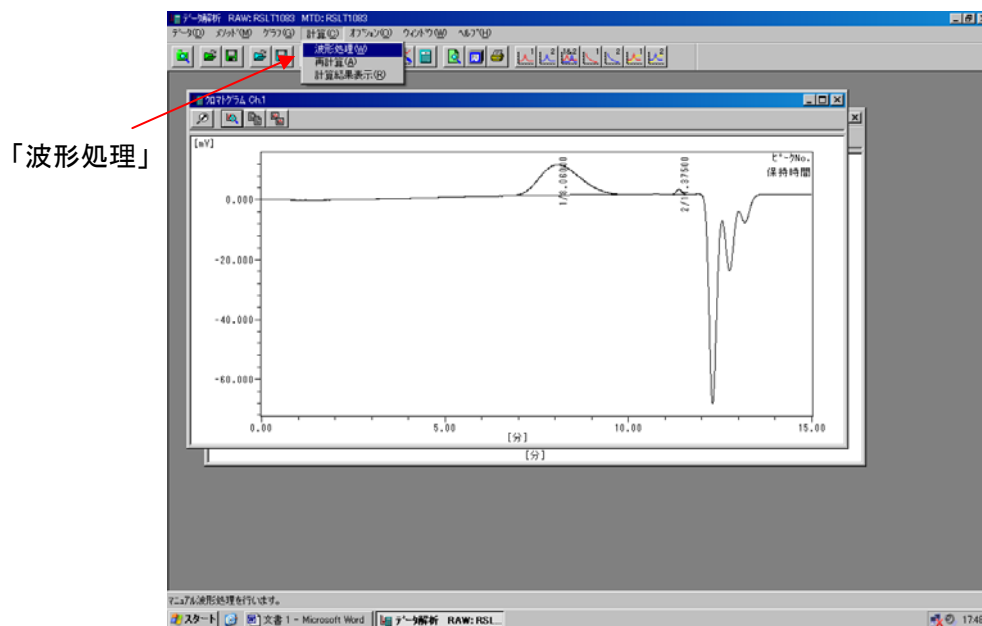
- ① 「データ解析」を開く。



② 測定した「クロマトデータ」を開く。



③ 「波形処理」を選択して再編集する。

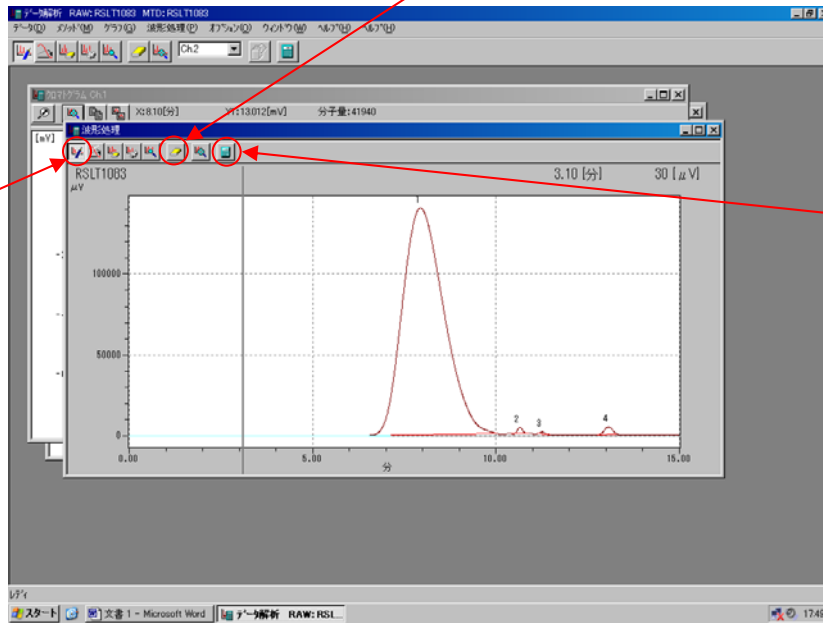


④ 出現しているピークを検出し再計算する。

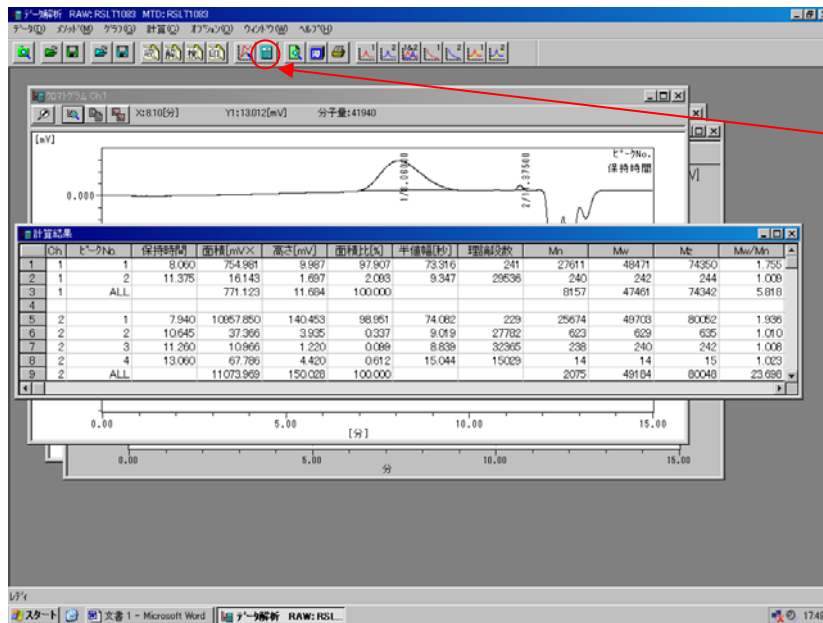
1. 全部消去

2. ピークの検出

3. 確定



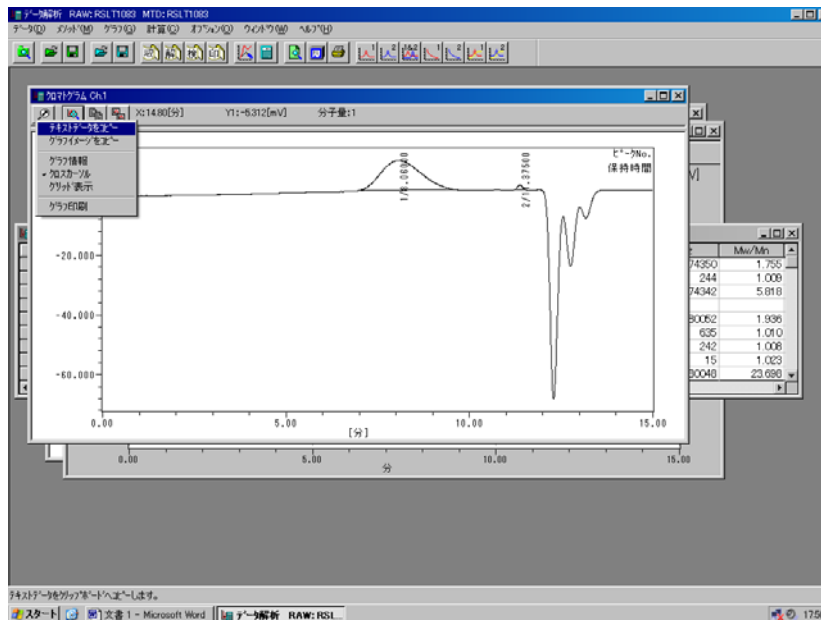
4. 再計算



⑤ データの移行と保存

テキストデータを「Excel」 or 「KaleidaGraph」に貼り付けグラフを作る。

これが面倒ならとりあえずイメージコピーでも OK！



編集後はデータを保存しないで終了する。元のクロマトデータはオートで保存されているから再編集したければ元データを探してやることは可能。

⑥ PC をシャットダウンして終了